

# 教員の ICT 活用指導力規準表

〔大項目 1～3〕

領域	レベルA 大學生・新任教員 (基礎的な知識をもとに 授業を実践できる)	レベルB 一般教員 (効果的な授業が実践できる)	レベルC ICT リーダー教員 (校内で指導・推進できる)	レベルD 指導主事 (地域で指導・推進できる)		
1 「教育の情報化」の推進	1 国の政策	教育の情報化に関する基本的なことを知っている。	教育の情報化の推進に関する法的な根拠を理解している。	教育の情報化の推進に関する具体的な政策を理解している。	教育の情報化に関して、地域の実態に応じた具体的な政策を立案できる。	
		教育の情報化の意義を説明できる。	教育の情報化の意義を理解し、教育実践に取り組むことができる。	国や県の施策を理解し、校内のリーダーとして教育実践を推進できる。	国や県の施策を理解し、地域の実態を踏まえた取り組みを推進できる。	
		学校における情報教育の内容を知っている。	各教科で情報教育を取り入れた教育実践を行うことができる。	情報教育の推進計画を立案し、取り組むことができる。	教育の情報化の推進について説明でき、学校へ指導・助言できる。	
	2 学校における教育の情報化	ICT を活用した授業場面を理解している。	ICT を活用した授業に積極的に取り組むことができる。	ICT 活用授業の推進計画を立案し、取り組むことができる。	教育の情報化に関わる予算制度について理解し、地域と連携した情報化計画が提言できる。	
		校務の情報化の必要性を理解している。	校内における校務の情報化に積極的に取り組み、協力して進めることができる。	校務の情報化の計画を立案し、取り組むことができる。	校務の情報化の計画を立案し、地域と連携しながら取り組むことができる。	
		学習指導要領における情報教育のねらいについて理解している。	情報教育のねらいについて理解し、教育実践に取り組むことができる。	情報教育の内容について理解し、校内における系統的教育実践の計画を立案し、取り組むことができる。	小中高等学校における情報教育の内容について理解し、系統的教育を取り入れた指導計画と指導内容を提案し助言できる。	
	4 ICT 環境の整備	学習指導要領における ICT 活用について理解している。	教科の目標と関連付けながら ICT 活用の指導計画を立案できる。	教科指導や総合的な学習の時間における様々な ICT 活用授業に関する指導計画を提案できる。	学習指導における様々な ICT 活用に関する指導計画と指導内容を提案し助言できる。	
		学校における ICT 環境について理解している。	ICT 活用のための環境を自ら整え、いつでも利用できる。	校内の ICT 環境の概要をつかみ、円滑な活用に努めることができる。	学校における ICT 環境の整備について理解し、指導・助言できる。	
		ICT 環境の整備に積極的に取り組むことができる。	校内での ICT 活用に対して、他の教員が使いやすいように配慮できる。	校内の ICT 環境の運用管理について、積極的に取り組むことができる。	学校の ICT 環境の運用管理および問題解決に対して指導・助言できる。	
		校内研修に参加し、自ら ICT 活用能力の向上を図ることができる。	ICT 活用に関する研修計画を立案し、実施できる。	ICT 活用に関する研修計画を立案し、実施できる。	学校における ICT 活用に関する研修カリキュラムを提案し学校に対して指導できる。	
	2 情報教育	1 授業設計	情報教育のねらいを実現する指導案を作成できる。	情報教育のねらいを実現する授業の具体的な指導計画を立案できる。	情報教育のねらいを実現する授業の系統的で具体的な指導計画を校内の教員に提案できる。	情報教育のねらいを実現する具体的な授業設計の方法を地域の研修等で教員に指導できる。
				校内における系統的な情報教育の指導計画を理解し、担当学年や教科の授業における段階的な情報教育の授業設計ができる。	校内における系統的な情報教育の指導計画に基づき、担当学年や教科の授業における段階的な指導内容を取り入れた情報教育の授業設計について、校内の教員に助言できる。	情報教育の授業設計の前提として、授業(教科・科目)で実施すべき項目・内容や教科内・学年内での系統性について、地域の研修等で教員に指導できる。
2 授業準備・学習環境整備		情報教育のねらいを実現する授業において、必要に応じて ICT 機器や既存教材を準備できる。	情報教育のねらいを実現する授業を実施できる具体的な教材を作成できる。	情報教育で利用できる素材や教材の適切な利用方法について理解し、校内の教員に提案できる。	情報教育で利用できる素材や教材の適切な利用方法について理解し、地域の研修等で教員に指導できる。	
		ICT を利用して、情報教育を実施するために必要な素材や情報を収集できる。	情報教育のねらいを実現する授業を実施できる具体的な教材を作成できる。	情報教育を効果的に実施するための教材作成方法について、校内の教員に提案できる。	情報教育を効果的に実施するための教材作成方法について、地域の研修等で教員に指導できる。	
		授業において必要な ICT 機器や環境を整備できる。	実施する授業に応じて ICT を活用することが適切かどうかを判断し、必要な授業環境を整備できる。	授業における情報教育のねらいや児童生徒の実態に応じて、適切な環境・条件を校内の教員に提案できる。	地域の教員が実施する授業に応じて、ICT 活用の有無も含め、適切な学習環境・条件を提案・指導できる。	
3 授業実践		情報教育のねらいを意識した授業を実施できる。	情報教育のねらいをバランスよく実現する授業を実施できる。	校内の教員に対して、情報教育のねらいをバランスよく実現するモデル授業を実施し、有効な教育方法を提案できる。	情報教育のねらいをバランスよく実現するモデル授業を紹介し、有効な教育方法や教材の活用方法を地域の教員に指導できる。	
		情報教育のねらいを意識した授業において、必要に応じて ICT 機器や既存教材を利用できる。	情報活用した学習活動において、課題に応じた児童生徒の適切な ICT 活用を支援できる。	情報を活用した学習活動において、課題に応じた児童生徒の適切な ICT 機器の活用方法を校内の教員に提案できる。	情報を活用した学習活動において、児童生徒の課題に応じた適切な ICT 機器の活用方法を地域の教員に提案できる。	
			児童生徒の実態に応じて、工夫しながら情報活用の実践力を育成する指導ができる。	情報活用の実践力を育成する指導方法について、校内の教員に助言・支援できる。	地域の教員に対して、問題解決学習にかかるモデル授業を実施し、情報教育の有効な教育方法を指導できる。	
4 児童生徒への情報教育の指導		情報活用の実践力の育成を意識しながら指導できる。	児童生徒の実態に応じて、工夫しながら情報活用の実践力を育成する指導ができる。	情報活用の実践力を育成する指導方法について、校内の教員に助言・支援できる。	情報活用の実践力を育成する効果的な指導方法について、地域の教員に指導・助言できる。	
		情報の科学的な理解を深めることを意識しながら指導できる。	児童生徒の実態に応じて、工夫しながら情報の科学的な理解を深める指導ができる。	情報の科学的な理解を深める指導方法について、校内の教員に助言・支援できる。	情報の科学的な理解を深める効果的な指導方法について、地域の教員に指導・助言できる。	
		情報社会に参画する態度の育成を意識しながら指導できる。	児童生徒の実態に応じて、工夫しながら情報社会に参画する態度を育成する指導ができる。	情報社会に参画する態度を育成する指導方法について、校内の教員に助言・支援できる。	情報社会に参画する態度を育成する効果的な指導方法について、地域の教員に指導・助言できる。	
3 ICT を活用した授業		1 授業設計	ICT 活用授業の教育効果の高さを理解している。	ICT 活用授業の教育効果の高さを理解し、その利点を積極的に活かした授業の指導計画を立案できる。	ICT 活用授業の教育効果の高さを校内の教員に示し、積極的に ICT を活用した授業の指導計画を立案し提案できる。	ICT 活用授業の教育効果の高さを認識し、地域の研修等で教員に指導できる。
	担当学年や教科の授業で、ICT を活用した授業の指導計画を立案できる。		担当学年や教科の授業で、ICT の特性を理解し、それを活かした授業設計ができる。	ICT の特性を理解し、学習効果の高い授業設計を校内に提案できる。	ICT の優れた特性を活かした授業設計の方法を研修等で地域の教員に指導できる。	
			ICT の特性を活かした新しい授業形態を校内に提案できる。	ICT の特性を活かした新しい授業形態を校内に提案できる。	地域の教員に対して、優れた研究成果や実践例を示し、ICT の特性を活かした新しい授業形態や学習形態を提案できる。	
	2 教材準備・作成	授業のねらいや目標に応じた教育用ソフトやコンテンツの内容を理解し、教材を準備できる。	授業のねらいや目標に応じた教育用ソフトやコンテンツを選択し、授業展開を考慮した上で教材を準備できる。	授業で活用できる教育用ソフトやコンテンツの情報提供を行い、その適切な活用方法について、校内の教員に提案し支援できる。	地域の教員研修等で有用な教育用ソフトやコンテンツの教育効果を紹介し、ICT 活用授業での活用を促す取り組みができる。	
		ICT を活用して、教材を作るために必要な素材を収集できる。	ICT を活用して、教材を自作したり、既存の教材を編集したりして、授業に活用できる教材を作成できる。	ICT を活用して、教材を自作したり、編集したりする方法を校内の教員に提案し支援できる。	教材の素材収集や作成について、より効果的で効率的な方法を地域の研修等で教員に指導できる。	
		授業において ICT 機器の活用方法を理解し、活用できる。	授業において適切な場面で ICT 機器を効果的に活用できる。	校内の教員に対して、ICT 機器を活用したモデル授業を実施するとともに、有効な活用方法を示し支援できる。	地域の教員に対して、優れた研究成果や実践例を示し、ICT 機器を活用したモデル授業を紹介するとともに、有効な活用方法を示し指導できる。	
	3 授業実践	授業において教育用ソフトやコンテンツの活用方法を理解し、活用できる。	授業において適切な場面で教育用ソフトやコンテンツを効果的に活用できる。	校内の教員に対して、教育用ソフトやコンテンツを活用したモデル授業を実施するとともに、有効な活用方法を示し支援できる。	地域の教員に対して、教育用ソフトやコンテンツを活用したモデル授業を紹介するとともに、有効な活用方法を示し指導できる。	
		教科等の目標達成のために ICT を活用した授業展開を行うことができる。	授業や学習の多様な場面に ICT を活用し、教科等の目標やねらいを達成できる。	校内の教員に対して、教科等の目標やねらいに応じた優れた ICT 活用事例を紹介し、ICT 活用のアイデアを提供できる。	地域の教員に対して、教科等の目標やねらいに応じた ICT 活用事例を研修会等で紹介し、ICT の有効な活用方法を提示できる。	
			児童生徒が授業や学習活動に必要な ICT スキルについて指導できる。	ICT スキルの指導に関して、学校の実態に応じて、学校全体の系統表を作成し、それをもとに適切な年間指導計画を立案し、提案できる。	地域の実態に応じて、教員に対して、ICT スキルの育成モデル案を提案するとともに、実践等について指導・助言できる。	
	4 児童生徒への ICT スキルの指導	ICT 機器やアプリケーションソフトの基本的な使い方を指導できる。	学習場面に応じた ICT 機器やアプリケーションソフトの効果的な使い方を指導できる。	児童生徒への ICT スキル指導にあたって、校内の教員に支援やアドバイスをすることができる。	地域の教員に対して、研修等によって児童生徒の発達段階に即した適正な ICT スキルの習得方法を指導・助言できる。	
		情報の収集・判断・処理・創造・発信に必要な基本的な ICT スキルを指導できる。	学習の場面に応じて情報の収集・判断・処理・創造・発信に必要な ICT スキルを指導できる。	情報活用に関する ICT スキルを収集・判断・処理・創造・発信の場面ごとに整理し、その指導方法を校内の教員に提案できる。	情報の収集・判断・処理・創造・発信に必要な ICT スキルの効果的な児童生徒への指導方法を地域の研修会等で教員に指導できる。	
		評価の目的、方法、規準を持って ICT 活用授業の指導計画を立案できる。	評価の目的、方法、規準を明確にした ICT 活用の授業設計を行うことができる。	ICT 活用授業の評価の目的、方法、規準を校内の教員に提案できる。	ICT 活用授業の評価の観点および評価方法を地域の教員に指導・助言できる。	
5 評価活動	授業を分析し、ICT 活用の方法を改善できる。	評価の方法を分析し、ICT 活用の方法を改善できる。	学校全体の ICT 活用授業の評価を行い、授業改善に役立てることができる。	ICT を活用した授業評価方法を地域の教員に指導・助言できる。		
	学習者の評価に ICT を活用できる。	ICT を活用することによって、学習者のより適正な評価を行うことができる。	ICT を活用した学習者に対する適切な評価方法などを提案できる。	学習者の評価に ICT を有効に活用する方法を研修会等で指導できる。		

教員の ICT 活用指導力向上のための Web ページ  
<http://www.t-ict.jp/>

この「教員の ICT 活用指導力規準表/折りたたみシート」は、平成 19 年度文部科学省委託事業「先導的教育情報化推進プログラム『教員の ICT 研修事業』」で作成されたものです。

© 教育情報化推進協議会 EEAJ (E-Education Association of Japan) 2008

<http://www.eeaj.jp/>

